

腹話術で交通安全 信号電材の福田さん 会社も活動バックアップ



信号電材株式会社(新港町、糸永康平社長)の荒尾事業所に勤務する、福田正春さん(六二)が六日、竹の子保育園を訪問、二歳から五歳の園児たち八十六人に腹話術を使い交通安全を訴えた。

福田さんは三十年ほど前から腹話術をはじめ休日などを利用し子どもや高齢者に交通安全を訴えている。信号電材も福田さんの活動を評価し活動を応援することになった。

福田さんは「ひとりでも

事故の被害にあわないようにと願って取り組んでいます。会社が応援してく



福田正春さん 信号電材荒尾事業所 年間二十

過ぎ、会社の理解と協力で 謝しています。ほかにも交平日でも幼稚園や保育園 通安全教室でも使える信に出向き、腹話術を使った 号機を貸していただけイベントを開催できる」 など大変感謝しています。

おむすびサロン

回ぐらい、子どもや高齢者の皆さんが交通事故にあわないように、腹話術を使って伝えています。定年をえられるので会社には感

とになりました。やはり休日より平日の方が、幼稚園など子どもたち集まってるので多くの方々に伝

れるようになり平日にも出かけられるようになりました。本当に感謝しています」と話した。

「福田さんも定年を過ぎ、会社としても社会貢献の一環として福田さんが活動されているときに信号機を貸し出すなどバックアップすることになりました。子どもたちが喜んでくれてうれしかったですね」と信号電材。